

(資料1)

「三つの話し方シナリオ」

この前遊んだとき、私は友達に漫画の本を貸しました。私の兄が読みたいと言っているので、それを返してくれるように頼みます。

〈いばりやさん〉

いばりやさん：この前の本返せよ。

相手：えっ、何？

いばりやさん：何がじゃないよ。貸しただろ、この前。

相手：あー。あれね。忘れてただけだよ。そんなふうに言わなくてもいいだろう。

いばりやさん：忘れてたって？いつもそうじゃないか。

相手：そんなことないよ。

いばりやさん：ふざけるなよ。

相手：ふざけてなんていないけど・・・。

いばりやさん：いいからちゃんと返せよな！

〈おどおどさん〉

おどおどさん：ええっと。あの。この前の・・・。

相手：何？

おどおどさん：あの。この前貸した漫画の本なんだけど・・・

相手：何だっけ？

おどおどさん：うんと。この前の漫画の本。

相手：ああ。ごめん忘れてた。今持ってないから、また今度でいい？

おどおどさん：あ、うん。いつでもいいんだ。別にそんなにたいしたことじゃないし。

相手：そう？悪いね。

おどおどさん：いいよ。いいよ。

〈さわやかさん〉

さわやかさん：Aさん。この前貸した漫画の本、今日返して欲しいんだけど。

相手：ああ、あれね。今日じゃなきゃだめ？

さわやかさん：明日お兄ちゃんが読みたいって言ってるから、できれば今日返して欲しいんだけど。

相手：ああ、そうか。まだ読み終わっていないから、あと一日ぐらいあるといいんだけど。

さわやかさん：じゃあ、明日の朝まで待つよ。どう？

相手：それなら、大丈夫だよ。

さわやかさん：じゃあ、決まりね。



(資料4)

「三つの話し方のまとめ」

〈いばりやさんの話し方〉

「自分が大事、相手は大事じゃない。」

- あなたは、自分が相手よりえらいし自分が正しいと思っている。
- 相手は、あなたのスタイルからそのことを感じとるので、あなたに対して腹を立てたり、なぜだかわからないけど、くやしかったり、傷ついたりする。

〈おどおどさんの話し方〉

「自分を出せなくて、相手のいいなりになってしまう。」

- あなたは、自分が出せなくて、相手に自分の気持ちをうまく伝えられないと思っている。
- 相手は、あなたのそんな自信のなさを感じとり、いいかげんにはっきりしてほしいと感じてイライラしたり、またかとうんざりしたり、自分がえらくなったような気がしたりしている。

〈さわやかさんの話し方〉

「自分も大事だし、相手も大事。」

- あなたは、自分も大事だし、相手も同じように大事だと思っている。だから、二人とも満足するところをなんとかして見つけ出そうとする。
- あなたは、どうどうとしてさわやかで自分に対する自信をもっている。
- 相手は、あなたから大切にされたし、意見もよく聞いてもらえたと感じている。

